

第4期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第4回）の模様について

日 本 証 券 業 協 会

<会合の概要>

本協会は、2022年2月24日（木）、第4期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第4回）を開催した。今後、第5回までの間、各研究委員が研究テーマについて中間報告を行うことを予定している。

第4回では、神田座長をはじめ合計36名の委員等が参加し、以下のとおり2名の研究委員から中間報告が行われた。中間報告では、研究テーマの背景、研究テーマにおける今後の課題等についての説明が行われた。

発表者 松中 学 研究委員（名古屋大学大学院法学研究科 教授）

テーマ 「第二種金融商品取引業の研究—金融商品取引業の規制における位置づけを踏まえた検討—」

ディスカッサント 甲南大学共通教育センター 教授 梅本 剛正 氏

発表者 宮川 大介 研究委員（一橋大学大学院経営管理研究科 准教授）

テーマ 「市場運用業務におけるタスク分配問題」

ディスカッサント 関西学院大学経営戦略研究科 教授 岡田 克彦 氏



意見交換では、松中研究委員からの中間報告に対して、ディスカッサントである梅本氏をはじめとした各委員から、二種業者がブローカーに近い役割の仲介行為を行う場合と自己募集を行う場合とでは分別管理義務の考え方に差異が生じ得るのではないか、二種業者の数と検査・監査実施先数との見合いからリスクベースの規制が志向されるため、デジタル化の進展により社会に与える影響が大きくなりつつある業者への規制を切り出して見直す余地があるのではないか等、多角的な視点から活発に意見が交わされた。また、宮川研究委員からの中間報告に対して、ディスカッサントである岡田氏をはじめとした各委員から、機械予測と人予測を比較するという実証手法と人の判断には必ずしも再現性がないこととの関係をどのように整理しているのか、効率的市場仮説との整合性を踏まえ機械予測モデルが担うこととするタスクを変更する余地があるのではないか等、活発に意見が交わされた。

今後、両研究委員は、本会合における意見交換を踏まえ、論文完成を目指す予定である。

以 上